

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS

令和8年
第1回 定例会

会期：2月17日～3月19日の31日間



No.277 令和8年5月1日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

目次

- 代表質問…………… 2～3面
- 一般質問…………… 4～5面
- 定例会活動報告等…………… 6～7面
- 予算特別委員会…………… 8面
- 委員会で取り扱った請願・陳情等…………… 9面
- 議案の審議結果等…………… 10面

トップニュース

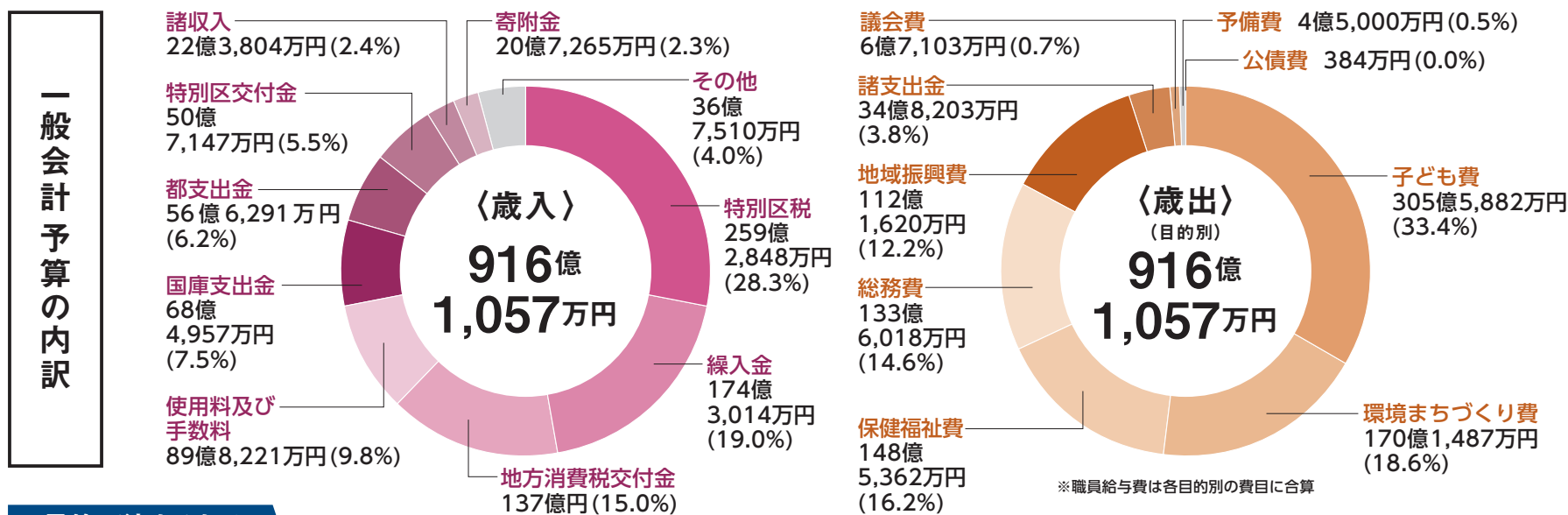
TOP NEWS

令和8年度

千代田区一般会計予算を可決

令和8年度の一般会計予算は、「今日の声、明日のかたちにする予算」として、「子育て・教育の充実」、「福祉の充実」、「地域の活性化と産業振興を推進」、「持続可能な社会の推進」、「安全・安心を実感するまち」、「スマートな暮らしの実現」の6つをテーマに編成されています。

〈 一般会計 916億1,057万円 前年度対比162億5,752万円増 〉



予算が決まるまで

区の1年間の仕事に必要なお金は、新年度が始まる前の本会議で決定されます。税金等のお金をどのように使うかを区長がまとめた「予算案」に対して、議会が内容を審査します。

● 予算特別委員会委員長報告(概要)

全議員で構成される予算特別委員会を設置し、令和8年度当初予算4議案を審査しました。委員会では、概要説明を受けたのち、企画総務、文教福祉、環境まちづくりの3つの分科会を設置し、それぞれ所管部分の詳細な調査を行いました。本委員会においては、分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え、採決に入ったところ、当初予算4議案は賛成多数で可決すべきものと決定しました。

1 議案(予算案)提出

区の当初予算案が確定すると、第1回定例会で、区長から議案として提出されます。



2 議案付託

提出された予算案は、予算特別委員会設置後、同委員会に付託されます。「委員会に付託」とは、議決に先立ち、所管の委員会に議案等の専門的な審査や調査をゆだねることです。

3 予算特別委員会

予算審査のため特別に設置される委員会です。千代田区議会では、さらに常任委員会別の3つの分科会を設置し、予算案を詳しく審査します。

4 委員長報告

委員会での審査結果を、委員長が本会議で報告します。



5 議決

本会議で賛成か反対のどちらかに議会の意思を決定する議決を行います。予算を可決すると、区の「当初予算」が成立します。

6 予算成立・執行

予算が成立すると、4月から執行が可能になります。年度途中で予算に変更が必要になった場合は、「補正予算案」が生まれ、改めて議会で内容が審査されます。

令和7年度

一般会計補正予算第5号を可決

補正前の額「765億1,474万9,000円」に、「72億7,093万8,000円」の予算額を追加しました。内容は、「私立保育所等運営補助」、「国・都支出金過年度超過交付金等返還金」、「基金積立金」等の事業に要する経費の追加です。この結果、補正後の一般会計予算額は、「837億8,568万7,000円」となりました。

また、「物価高対応子育て応援手当」、「バリアフリー歩行空間の整備」、「公園・児童遊園の整備」等について、繰越明許費を定めました。加えて、債務負担行為の補正として、「(仮称)神田錦町三丁目施設の整備」、「自転車道の整備」の事項を追加しました。

Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

次世代・都民ファースト・立憲の会 岩佐 りょう子



団体支援の在り方

問 町会の公益性と区政における機能的役割を踏まえ、団体補助と事業補助をより峻別し実効性ある支援制度へ見直す考えはあるか。

答 町会の役割や機能を整理した上で事業補助の考え方を明確にする。併せて支援拡充と公正な制度運営の両立に向け検討を深める。

福祉のラストワンマイル

問 ①訪問という手段によらず独居高齢者と接触できる仕組みを構築し、安否確認にとどまらず区の多様な支援メニューにつなぐ福祉のラストワンマイルの制度化を②身元保証人の有無で必要な医

療・介護サービスへのアクセスが左右されない仕組みづくりを。

答 ①制度の狭間で支援が届かない可能性があることは従来からの課題。支援者間の連携を一層強化する仕組みを鋭意検討②社会福祉協議会等との組織横断的な体制で体系的な整理・検討に着手。

文化芸術助成について

問 ①本区の助成は最長3年で、成熟・発展段階への橋渡しとしては不十分。活動状況に応じたメリハリある制度に見直すべきでは②カザルスホールの利用再開に向けどのように協議を進めていくか。

答 ①区民の主体的な活動継続につながるか等課題を整理②区民に開かれた施設となるよう区民の利用条件も整理し協議を進める。



千代田区議会 自由民主党 小林 たかや



基金の実物資産化土地取得等の戦略的活用方針は

問 基金の実物資産への戦略的転換の発想は都市基盤強化と福祉向上に直結。公共施設用地の計画的確保が不可欠な中、区の考えは。

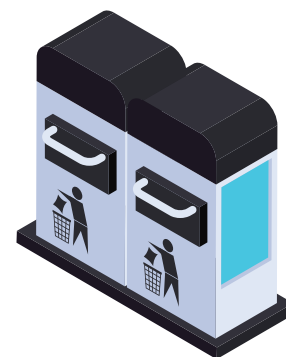
答 用地は行政目的に応じた取得が基本。流動性の低下や将来の行政需要の不確実性、維持管理コスト等、財政運営の柔軟性や健全性の観点を踏まえた上で、実物資産の保有は慎重に検討すべき。

秋葉原スマートごみ箱設置の政策判断費用対効果

問 ①他区ではごみの排出者責任を明確にした一方、本区は公費設置を選択した。制度化における比較検討は②維持管理費が継続し

て発生するが、効果検証の指標や見直し基準を定めているのか。

答 ①来街者由来のごみが多く実効性のある取締りとするには多大な人員とコストが必要。まずは受け皿不足の解消を優先②設置前後をデータで可視化して客観的に検証し、必要に応じて見直す。



行政DXの削減効果を定員管理組織最適への反映

問 ①DXによる業務削減効果を組織最適化にどう反映させたのか②単年度にとどまらない将来像とロードマップを明確に示すべき。

答 ①AI活用による2,000時間超の業務削減効果を基礎に部署間で連携し人員配置や採用枠を管理②限られた体制でも高い生産性を有する組織を構築すべきで、最たる手段のDXを引き続き着実に推進。

千代田区議会自由民主党議員団 白川 司



外国人問題(民泊・治安・教育)の対応について

問 民泊や生活マナーを起点に、治安や教育を含めて区民等がワンストップで相談できる体制を構築する考えはあるか。区民の不安を未然に抑え、地域秩序と共生を両立するための区長の所見は。

答 総合的・体系的な施策推進のため検討委員会で議論を開始。来年度は外国人等を対象にアンケート調査によりワンストップ相談体制の構築も含めた取組みを検討し、区民の不安解消に努めていく。

独身現役世代のための区政の在り方について

問 子育て・教育支援を基盤としつつ、独身者や若い勤労世代への配

慮を高め結婚や出産につながる環境を整えていく考えはあるか。

答 若年層・ミドル世代のニーズを丁寧に把握しながら施策を検討。将来的な選択肢を柔軟に検討できる居住環境の整備にも取り組む。

職員の世代不均衡と役所の組織力強化について

問 ①年齢構成のばらつきとノウハウ継承の課題への認識は②人事評価、OJT、DX等を相互に連動させ、経験や知見が世代を超え循環する持続可能な組織体制をどのように構築していく考えか。

答 ①20・30代が6割と年齢構成に偏りがあり知識等の継承が行政の安定運営に極めて重要と認識②実務上の判断等を共有する仕組みを構築、また後進育成への貢献を明確に評価項目に位置付ける。



出所：議員本人提供

Q&A

代表質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

公明党議員団
米田 かずや



令和8年度当初予算編成と中長期財政について

問 公共施設の更新や防災対策等、将来にわたり財政需要は確実に増大する。持続可能な財政運営をどう確保するのか。基本姿勢は。

答 各事業の効果や必要性を検証し、役割を終えた事業や効果が限定的な事業等を見直す。施設更新では優先度や規模を適切に見極め、財政負担が特定の時期に偏らないよう計画的な対応に努める。

医療・健診データ活用と公会計見える化について

問 ①健診データ等の連携や分析を行う基盤を整備し予防施策の効果検証等につなげることへの区の考えは②予防医療への投資効果

を可視化し税金や保険料の使途と成果を伝える仕組みの構築を。

答 ①PMHの導入や介護情報基盤への接続を進め介護情報の共有化等DXを活用した体制整備を図る②財政の可視化手法について関係部署と連携、分かりやすい行政情報の発信に向け検討を進める。



文化財保存活用計画と調査員制度について

問 ①計画策定の進捗状況は②文化財を守り生かすには計画だけでなく人材体制が不可欠。調査員制度見直しの具体的な内容は何か。

答 ①都や文化庁と円滑な調整を図り8年度策定を目指す②区内外問わず区の文化財に関わりたいという意見が多く他自治体例を参考に人数を含め制度の見直しを検討。再募集は8年度早々に実施。



令和8年第1回定例会 会期日程 (会期:2月17日～3月19日の31日間)

月/日	本会議・委員会関連等日程
2/17	議会運営委員会
	本会議 (会期の決定・区長招集挨拶等)
18	議会運営委員会
24	議会運営委員会
25	本会議 (代表質問・一般質問)
26	本会議 (一般質問・議案の付託等)
	予算特別委員会
27	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
3/2	予算特別委員会
	議会運営委員会
	本会議 (議案の議決)
3	予算特別委員会 企画総務分科会
	予算特別委員会 文教福祉分科会
	予算特別委員会 環境まちづくり分科会

月/日	本会議・委員会関連等日程
3/4	予算特別委員会 企画総務分科会
	予算特別委員会 文教福祉分科会
	予算特別委員会 環境まちづくり分科会
5	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
10	議会運営委員会
	本会議 (議案の付託)
11	予算特別委員会 (総括)
12	予算特別委員会 (総括)
16	企画総務委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
18	議会運営委員会
19	議会運営委員会
	本会議 (議案の議決等)



閉会中の主な活動 (12月27日～2月16日)

月/日	日程
1/23	企画総務委員会
	議会運営委員会
	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
2/4	政務活動費交付額等審査会
5	全員協議会
	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会

月/日	日程
2/6	企画総務委員会
9	文教福祉委員会
	環境まちづくり委員会
10	〈令和8年第1回定例会告示日〉
	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
16	議会運営委員会
	議会運営委員会

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

永田 壮一 (自民)

(自民)



外国人問題について

問 ①作成する多文化共生プランに外国資本投資による住宅価格高騰等の実態反映を②違法在留者の住民票消除後のリスクは③生活ルール等の相談窓口の設置を。

答 ①来年度のアンケート調査で実態把握、分析②各所で居住継続や所在把握困難化のリスクあり。必要な支援につなぐ運用改善を検討③国の動向等を踏まえ検討。

退職自衛官の活用について

問 有事での専門知識や経験を持ち即戦力となる幹部自衛官を区長直轄の補佐に迎えることが本区の最適な強靱施策では。

答 豊富な経験を持つ退職自衛官を4月に任用し、一層の災害対応力強化を図る。



自衛隊徒歩行進訓練
(出所:議員本人提供)

えごし 雄一 (公明)

(公明)



骨粗しょう症対策の拡充

問 ①骨密度測定会を土日・夜間等も行い受診しやすくできないか②リスクの高くなる年代や女性にはDXA法等高精度の検査が必要。検査への助成や区民健診でも行えるようにしては③対策や骨折予防等をまとめて「骨活」として周知・啓発を。

答 ①体制確保に課題があるが検査機会拡大に向けて検討を進めている②区内医療機関の機器保有状況等を確認し検討③生涯の健康づくりの啓発として検討する。

公園のごみや粗大ごみについて

問 ①モラル・マナー向上の取り組みだけでなく、本区は公園もまちもきれいだというイメージ戦略が必要②粗大ごみ収集申込みだけでなくオンライン決済の導入も。

答 ①「きれいなまち」というイメージの発信や定着は非常に重要。視覚的な情報発信の在り方を検討②先行する他区の状況も把握しながら導入に向け検討する。

はやお 恭一 (自民党)

(自民党)



教育政策(公立復権)の総括を

問 都心回帰による一時的な児童・生徒数の増が見られる今こそ中長期的で一貫性のある戦略が必要①平成14年度から推進してきた公立復権政策への評価は②進学率が低下する中、次の戦略をどう描くか。

答 ①中等教育の在り方の報告書を取りまとめ概ねを総括、当時に比べ適正な学校規模を維持し社会性等を育成②時代に即した洗練を繰り返し質的高度化を図る。

私立支援の政策的整合の明示を

問 広義の子育て支援策として一定の合理性があることは理解するが、これまでの区立学校進学促進の政策方針との整合をどう整理したのか。恒常的な財源確保の見通しはあるのか。ベクトルが異なる両施策は論理的に両立可能と考えるのか。

答 区立に実施している給食費補助等との公平性に考慮して行うもの。区立の魅力向上には影響を与えず、両立し得る。

牛尾 こうじろう (共産党)

(共産党)



シルバーパス購入費への助成を

問 人的交流がフレイル対策と言われる中、一律1,000円の助成を行う区も。必要な予算が1億円足らずの本区でも実施を。

答 本区は他に類を見ない公共交通網を擁する上に地域福祉交通風ぐるまを運行し移動支援も実施している。それらを踏まえると、慎重な検討が必要だと認識。

地域が共感できるまちづくりを

問 都市計画マスタープランには「地域の共感を得るまちづくりの進め方や制度活用を選択する」とある。多額の税金を投入する市街地再開発だけでなく、ビルのリノベーション等の各選択に対応した人的・経済的支援の仕組みと充実が必要。

答 個別代替えやリノベーション等の手法も適切に組み合わせてまちづくりに取り組む必要がある。また補助金の投入は区や個人で創出できないものへの地域の努力に対する制度として問題ないと考える。

富山 あゆみ (自民)

(自民)



安心して住み、学び、働き、訪れる秋葉原へ

問 ①文化・観光・産業の振興と居住・教育環境・公共空間の安心・安全をどう両立させる方針か②看板の適正化に行政主体で実効性ある運用設計を③スマートごみ箱は回収頻度や監視・案内等の総合的な体制が必要④まちの価値を守り持続可能にする方針・計画が必須では。

答 ①小さな乱れへの早期対応、回遊性と安全・快適の両立、地域等との連携継続の3点を着実に取り組む②景観協議を通じて地域特性に沿った景観誘導を図れるよう努める③投棄状況をデータで可視化し実効性の高い検証を行う④関連団体とも連携し官民一体の取組みを目指す。



出所:議員本人提供

田中 えりか (国民)

(国民)



欧州に学ぶ多文化共生の限界

問 本区の施策において、欧州の移民政策の現状を教訓に、日本人に変化を求めるのではなく移住者に日本社会への適応を求める方向へと舵を切るべきではないか。

答 地域ルール遵守が重要との認識の下、外国人住民対応を総合的に進める庁内検討委員会で議論開始。今後は国の動向等を踏まえ公平性を保つ対策等も含め検討。

現場の疲弊から区民を守る取組

問 外国人の人口増加に伴い、行政の窓口や教育現場、地域でのトラブル等、現場にしわ寄せがいき疲弊する現状を区はどう認識しているのか。具体的な対応策は。

答 学校では通訳等の配置、多言語資料の活用に加え、来年度から外国語が堪能な学校問題対策専門員を配置予定。また、アンケート調査を行い、窓口や教育現場、地域トラブル等の現状について把握・分析し、様々な取組みを検討していく。

Q&A

一般質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

ふかみ 貴子 (次世代)



現役世代ケアラーへの支援

問 ①AI活用も視野に相談への到達を容易にするオンライン窓口等の設計強化を②通報から救急要請まで家族の駆付けに依存せず済む仕組みを構築すべきでは。

答 ①特化型AIの構築に向けた技術的課題を踏まえつつ、将来的な実装の可能性を見据え検討を進める②救急通報システムの周知とともに、離れた場所からの見守りや意思疎通における新手段を研究する。

重度化予防に向けたデータ活用

問 医療と介護データの横断で重度化の差を把握し、保健事業や介護予防に反映して区民に還元していく考えはあるか。また、重度化予防を通じて家族負担の軽減等につなげる方針について区の見解は。

答 データヘルス計画に基づきレセプト情報等を活用して各種事業や訪問を一体的に実施。今後、看護師らの経験等の共有や伝承にも努め効果的な支援につなげる。

小枝 すみ子 (声)



文化継承の担い手支援

問 ①担い手が事業等を継続できない流れを変えられるのか②本区には文化振興を目的にした財団が存在しない。教育と文化のまち「千代田財団」設置の検討を。

答 ①事業承継支援等を一体的に進め、次の担い手につながる環境を整えていく②区民との直接のやり取りできめ細かな対応に努めており、財団設置の考えはない。



出所：議員本人提供

二代表の考え方

問 二代表制を踏まえれば、区をチェックする役割の議会の委員会が、チェック相手の区へ相談し区が応じたことは問題。

答 判断の方向性への強制等はなく制度運用は適正。議員の意見には賛同しかねる。

桜井 ただし (自民)



高校授業料無償化への対応は

問 選択肢が広がることで公立離れが心配。中等教育学校を有する本区はなおさらその動向を注視する必要がある。区は子どもたちに支持される学校をどう考えるか。

答 柔軟で質の高い学びを実現し、選ばれる区立学校として、学んでみたいと思える魅力ある学校づくりを目指していく。

いきいきプラザ一番町の改修

問 ①設備等の改修想定時期は既に超過。検討経過は②入居者等に負担のない方法を取るため留保財産の活用を検討すべき。

答 ①平成30年度に大規模改修の検討に着手し課題解決に向け検討してきた②全庁的な行政需要を勘案し調整等を進める。

建築設備更新時期	
空調設備	15年
給排水設備	15年
照明設備	20年
外壁、防水	20年

千代田区公共施設等総合管理計画より
(出所：議員本人提供)

小野 なりこ (次世代)



子ども施策を当事者目線で推進

問 個別事情に寄り添う対応需要が増すも早く適切な支援へたどり着きたい声もある。発信力ある民間団体との連携等で情報格差を解消しラストワンマイル実現を。

答 ちよだキース・フォーラムの結果等を踏まえ、情報発信強化の検討が必要と認識。民間との連携も視野に検討していく。

千代田区ならではの観光振興を

問 区の行事で渡したグッズの購入問合せがあるが、観光協会を通じて区内店舗等と連携し、本区PRのグッズ作成や販売を。

答 さくら等のグッズを商品化しているが、歴史文化等を題材に検討し試行販売等で魅力創出と観光振興につなぐことが肝要。

オリジナルグッズの例



出所：議員本人提供

のざわ 哲夫 (維新)



ふるさと住民登録制度について

問 ①制度の積極的な活用で本区を応援してもらえる仕組みづくりを②本区でも住民サービス等でDID/VCの導入を試行しては。

答 ①関係人口創出という制度の趣旨は理解しており、国や他自治体の動向等を引き続き注視②DID/VCは個人等が自己管理可能な証明書として住民サービスの質を向上し得るもの。様々なデジタル技術の進展等を踏まえ事業手法を検討していく。

共同親権について

問 ①本区の具体的準備状況は②別居親の学校行事への参加の扱いは③学校から別居親への情報提供はどのように行うのか。

答 ①研修等を実施。区ホームページで区民へも周知②保護者からの申出に基づく丁寧なコミュニケーションを通じて引き続き対応③学校行事と同様に保護者からの申出に基づく。学校にもニーズに応じた丁寧な対応をするよう周知していく。

岩田 かずひと (次世代)



旧永田町小学校について

問 意見募集では建物保存の訴えが4割以上の一方、解体希望はその半分未満。活用方法未定のまま解体を進めるのは無責任なまちづくりと同様。解体は誰の意見か。保存の意見募集を行わない理由は。

答 解体は卒業生等から賛否を含む意見を把握し行政需要等に備え用地確保の必要性から総合的に判断。建物保存の意見募集は行わず価値や歴史を残すよう努める。

公益通報と官製談合事件

問 官製談合事件は公益通報の事案。逮捕された元部長は正当な公益通報者に当たり膿を出した功労者。区は退職金返納命令を不利益処分でないと言うが、受けた側が不利益と言えば不利益処分である。

答 公益通報条例は通報による不利益処分を禁止。返納命令は通報も踏まえ下された刑の確定により退職手当条例に基づくもの。通報と返納命令は一切関係がない。

定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案31件のうち21件を審査しました。議案の審査経過をご紹介します。
なお、審議結果は10ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

議案13件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「**職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**」は、令和7年の特別区人事委員会による勧告を踏まえ、行政職及び一部の医療職の給料表の改定を行うとともに、宿日直手当の上限額及び管理職員特別勤務手当の支給対象時間を改めるものです。

〈審査経過〉

今回の改定により課長に昇任した場合、年収ベースで100万円程度増える見込みであり、これまで管理職の職責の重さと給料が見合っていないと感じる職員がいた中では、大きく改善する内容となっており、管理職を目指す職員が増えることを期待していること。管理職の給料が引き上げられるが、民間の課長級の職員等との比較、給与勧告に基づいているため、民間との均衡は失しない内容になっていること等が明らかになりました。

「**神田橋公園改修工事請負契約について**」は、神田橋公園改修工事施行のため請負契約を締結するものです。

〈審査経過〉

原則は競争入札であるが、昨今入札不調が続く中で、次回入札しても応札の見通しが立たず、最後まで入札をした事業者と所管が調整したところ話がまとまったことから、随意契約としたこと。一度契約が不調になると事業が遅れてしまうことや、神田橋公園の整備については、令和7年第4回区議会定例会にて補正予算を議決いただいたものであることから、今回急施をもって議案を提出したものであること等が明らかになりました。

その他、「**千代田区公告式条例の一部を改正する条例**」等11議案を審査しました。

文教福祉委員会

議案7件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「**千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例**」は、国民健康保険事業の安定運営のため、保険料率、賦課割合及び賦課限度額を改定し、保険料均等割額の減額措置対象者の範囲を改め、子ども・子育て支援納付金について定めるほか、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

保険料の増額要因は、子ども・子育て支援金分の新設、被保険者数の減少であること。また、一般財源の活用は慎重に考えなければならず、自治事務とはいえ区独自に均等割をなくす等の措置は難しいこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

本議案は、保険料が増え、物価高に終わりが見えない中で国保世帯に更なる打撃を与えるものであるが、区は国保世帯の抜本的な負担軽減に後ろ向きと言わざるを得ない。均等割保険料の18歳までの無償化を強く国に要請するとともに、区独自の国保料軽減策を強めることを求め、本議案に反対する。 【牛尾】

【賛成の意見】

本議案における条例改正による保険料率の改正は、国の進める将来的な保険料負担の平準化や、東京都国民健康保険運営方針に基づくものであり、今後の持続的で安定的な国民健康保険事業の運営のためには必要な条例改正であることから、本議案に賛成する。 【おのぞら】

その他、「**幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**」等6議案を審査しました。

環境まちづくり委員会

議案1件の審査経過は以下のとおりです。

「**特別区道の路線の廃止について**」は、九段南一丁目における駅前空間の再整備及び親水空間の創出のため、道路法の規定に基づき、特別区道千第311号線及び第313号線を廃止するものです。

路線廃止後の主な用途は、現在幅員4メートルの区道第312号を約8メートルに拡幅し、区画道路1号として再整備する計画です。その他、市街地再開発事業区域内において権利変換予定及び土地区画整理事業区域内において清算予定があり、これらの合計が事業前と同じく664.32平米となります。

〈審査経過〉

議決された場合、告示から約2か月の管理期間を経て区の管理から離れるが、当面道路として通行できる環境は確保することを開発側に確認していること。区道廃止後は、区と市街地再開発組合が管理協定を結び、市街地再開発組合が管理していくこと等が明らかになりました。

その他、千代田区耐震改修促進計画改定(素案)、地域まちづくりの動向、千代田区自転車活用推進計画の策定、二番町地区のまちづくり、特別区道の通称名の設定、五十通りの道路整備、ウォーカーブルなまちづくり及びエリアマネジメントの取組み、霞が関・虎ノ門地区のまちづくりについて報告がありました。



定例会活動報告

特別委員会

デジタル・トランスフォーメーション 特別委員会

区では、現在、ワークプレイス変革に向けてオフィス整備を実施しており、2月に本庁舎6階を整備し、運用を開始していることの報告がありました。今後、本庁舎4、5階、本庁舎以外の施設も順次実施していくとの説明がありました。

次に、区の情報セキュリティの取組みについて、今後、区のセキュリティに関する基本方針の改定を予定していること。業務委託先の情報セキュリティチェックリストを策定し運用していくこと。ヒューマンエラー発生を抑止のため研修を実施したこと等の報告がありました。



6階コミュニケーションエリアの様子(出所:当委員会資料)

契約にかかる不正行為等再発防止 特別委員会

当委員会における刑事確定訴訟記録の閲覧メモについては、委員及び出席理事者で共有すること。委員会活動以外には使用しないこと。新聞、雑誌、インターネット等で公開をしないこと。閲覧メモを使用して質疑する場合の取扱い方法を確認しました。その後、委員から、区報告書に記載されている上司からの指示命令の有無について、また、事件以前から情報漏洩が常態化していたか再調査の実施についての質疑がありました。これに対し、区からは、刑事確定訴訟記録は、判決の基礎資料の一部に過ぎず、判決では具体的な関与は認められておらず、記録をもって客観的な事実だとは考えていないこと、改めての調査は考えておらず、再発防止策を着実に実行させていく等の説明がありました。また、今後の公益通報制度の運用については、常任委員会で報告・確認することが整理され、委員から元副区長の参考人招致の提案がありましたが、判断には時間が必要との意見があったため、結論は見送ることとなりました。

会派内の役職と委員会の構成に変更がありました

1月22日付で春山あすか氏が辞職したことに伴い、日本維新の会千代田議員団で会派内の役職と委員会の構成に変更がありました。詳しくは「区議会の会派構成」と「委員会構成の変更」をご覧ください。

区議会の会派構成

※()内は略称

◎幹事長 ○副幹事長
□幹事 ◇経理責任者
◆政務調査会長

次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代)

◎ 小野 なりこ
○ 岩佐 りょう子
◇ ふかみ 貴子
□ 入山 たけひこ

□ 岩田 かずひと
□ おのでら 亮
秋谷 こうき

千代田区議会 自由民主党(自民党)

◎ 小林 たかや
○ はやお 恭一
□ 池田 とものり
□ 西岡 めぐみ
◇ 大坂 隆洋

千代田区議会 自由民主党議員団(自民)

◎ 桜井 ただし
○ 白川 司
◇ □富山 あゆみ
□ 永田 壮一
公明党議員団(公明)
◎ 米田 かずや
◇ えごし 雄一

日本共産党(共産党)

◎◇牛尾 こうじろう
国民民主党(国民)
◎◇田中 えりか
◎◇小枝 すみ子
日本維新の会
千代田議員団(維新)
◎◆◇のざわ 哲夫

令和8年1月23日時点

「千代田区議会におけるサイバーセキュリティを確保するための基本方針」を策定

地方自治法の規定(第244条の6第1項)に基づき、議会におけるサイバーセキュリティを確保し議会活動が安全かつ円滑に行われるようにするために、「千代田区議会におけるサイバーセキュリティを確保するための基本方針」を策定しました。

詳細はホームページで公表していますので、ご覧ください。



議会運営委員会、環境まちづくり委員会、デジタル・トランスフォーメーション特別委員会の構成が変更になりました。委員会構成の詳細は区議会ホームページをご覧ください。

委員会構成の変更

●議会運営委員会

委員の変更がありました。(令和8年1月22日付)

辞任 春山 あすか **新任** のざわ 哲夫

●環境まちづくり委員会

委員の辞任がありました。(令和8年1月22日付)

辞任 春山 あすか

●デジタル・トランスフォーメーション特別委員会

委員長と副委員長の変更がありました。(令和8年2月10日付)

〈委員長〉
辞任 春山 あすか (令和8年1月22日付で委員辞任)
新任 おのでら 亮

〈副委員長〉
変更前 おのでら 亮
変更後 米田 かずや



予算特別委員会

全議員で構成する当委員会に審査を付託された5議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

【令和7年度千代田区一般会計補正予算第5号】は、「私立保育所等運営補助」、「国・都支出金過年度超過交付金等返還金」等の事業に要する経費を追加するほか、「物価高対応子育て応援手当」、「バリアフリー歩行空間の整備」、「公園・児童遊園の整備」等について繰越明許費を定め、債務負担行為の補正として、「(仮称)神田錦町三丁目施設の整備」、「自転車道の整備」の事項を追加するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、私立保育所等運営補助、認可保育所については、公定価格扶助は児童数に応じて算定され、保育士への支払いは、各園からの請求内容及び保育士数等により確認すること。バリアフリー歩行空間の整備については、関係部署と調整し、契約不調とならないよう努めること。自転車通行環境整備については、先般の神田警察通りの樹木伐採は、国交省の街路樹管理マニュアルに基づき、掲示等の周知を行ったこと。妨害等により工期が延伸しているが、区は、工事を進めることを第一に考えていること。(仮称)神田錦町三丁目施設の整備については、福祉施設の安定的な運営を重視し、施設の運営期間は10年となっていること。神田警察通りⅡ期区間の整備については、秋頃の完了を見込んでいること等が明らかになりました。質疑を終了し、採決の結果、賛成全員で可決すべきものと決定しました。

【令和8年度千代田区各会計予算】の4議案は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、文教福祉、環境まちづくりの3つの分科会を設置し、詳細な調査を行いました。その後、総括質疑で多数の事項の質疑が行われ、次のような意見発表がありました。

〈討論〉

【反対の意見】

令和8年度予算は、教材無償化や私立小中学生への電子クーポン等、子ども・子育て世代の声が一部反映された。しかし、物価高騰と実質賃金の低下が続く中、暮らしへの支援、高齢者や中小零細事業者への支援は不十分であり、国民健康保険料及び後期高齢者医療保険料の負担は増える。市街地再開発の推進は、CO₂削減と相容れず、持続可能なまちづくりの観点からも再考が必要である。住まいへの支援は、低所得者世帯への支援が不足している。錦華公園へのAI防犯カメラの設置は、利用者から監視とみなされるおそれがあり、プライバシー侵害の懸念もあることから反対する。【牛尾】

公園への防犯カメラ設置では、AI監視カメラが採用されるにもかかわらず、議会への十分な説明がなかったことを確認した。議会軽視と言わざるを得ない。また、スマートごみ箱の高額な経費にも驚かされた。さらに、「公益通報と官製談合」については、関係者の供述や判決文、退職手当返還命令書において「上司からの指示・命令」との一文が明記されているにもかかわらず、区は組織的関与を否定し、第三者委員会の設置も拒否している。このような自治体に何の信用もない。よって、本予算案に反対する。【岩田】

【賛成の意見】 「今日の声を、明日のかたちにする予算」として「子育て・教育の充実」、「福祉の充実」、「持続可能な社会の推進」、「安全・安心を実感するまち」等6つの重点テーマを掲げ、過去最大の予算額で編成された。具体的事業としては、出産・子育て支援、病児・病後児保育、子どもの朝活プログラム、私立学校就学者等支援クーポン、包括的相談支援体制、医療情報の統合、がん患者支援、区民ニーズに応じた住まいの供給、町会支援、DX・GXの取組み、防災対策の推進等が評価できる。本委員会の議論や区民の声に耳を傾けながら各事業に取り組むことを強く要望し、賛成する。【えごし】

令和8年度予算は、AI防犯カメラの設置等議会や地域への説明がなく、プロセスの明らかでない項目が目立った。スマートごみ箱も異常に高額な運営費であり、清掃職員を増やす対応も考えられた。一方、区の高い財政力を背景に、新たな施策の多くは社会実験的要素も含むと考えることもできる。物価高や地価高騰、税負担増等により区民生活は厳しさを増す中、アフォーダブル住宅政策等の取組みは遅れており、早急な対応が求められる。政策を進めるため、区職員の熱意と良識に期待する。予算成立後も状況変化に応じた見直し、対話・調整による行政執行を求め賛成する。【小枝】

令和8年度予算は、物価上昇や社会情勢の変化に対応し、子育て支援や教育環境の充実、防災対策強化、区民の安全・安心の確保等、区民生活に直結する施策を着実に推進する内容である。区立学校の学用品無償化や私立学校就学者へのクーポン配付は、次世代を担う子どもへの支援として高く評価する。AI機能付き防犯カメラ設置を進める議論では、区民生活の安全を守るためにも、区の責任において設置を増やす前向きな姿勢が確認できた。今後も納税者の利益を重視し、将来を見据えた予算編成と限られた財源の中で、区民福祉向上に資する施策の着実な実施を求め、賛成する。【白川】

令和8年度予算案は、「今日の声を、明日のかたちにする予算」として、子育て・教育の充実、安全・安心を実感するまち、スマートな暮らしの実現等、6つの重点テーマを推進する内容で、過去最大規模となった。中でも、私立学校就学者等支援クーポンは、私立・国立学校等に通う小中学生への経済負担軽減と区内地域経済活性化に資する施策として高く評価する。歩道の日除け設置、AI防犯カメラ設置、祭礼文化の継承支援等も、適切な事業であることを確認した。時代や区民の経済・生活環境の変化を的確に捉え、「今日の声」を重視した柔軟な区政運営を求め、賛成する。【おのでら】

令和8年度予算は過去最大規模となったが、区民の暮らしに向き合い、課題解決に取り組む姿勢を評価する。防災・防犯対策やオーバーツーリズム対策、地域コミュニティ活動や産業振興支援、広報広聴機能強化等は、安全・安心を実感できるまちづくりにつながる施策である。区民サービスの質を高めるため、組織変革への取組みやデジタル化推進、職員の働き方改革等、行政への信頼回復に向けた取組みにも期待する。区民の声を踏まえ、区民生活の質の向上を目指す予算案を評価し、税収増については、物価高騰の影響を受ける区民に可視的な形で還元する行財政運営を求め賛成する。【田中】

令和8年度予算案は、(仮称)神田錦町三丁目施設整備、子育て施策の数値管理、私立保育所運営補助の検証、ICT学校教育システムの推進、学校部活動の外部委託等、区民生活の安心と幸せにつながる事業の取組みを高く評価する。質疑では、区民の声を聴き、地域課題の解決に部署横断的に取り組むことも確認した。今後は、インフレ時代を見据えた中長期的な財政予測の下、物価高騰や区民の暮らし支援に配慮した予算編成を行い、先駆的な自治体となることを期待する。区民の豊かさにつながる行政を目指し、ボトムアップ型の体制づくりを求め、賛成する。【のざわ】

令和8年度予算案は、過去最大規模となったが、行政需要の拡大や将来的な基金確保が想定される中、健全な行財政運営を行うためには、長期的計画の精度を上げ、業務の見直しを行う必要がある。一方、AI防犯カメラ設置、祭礼文化継承補助、スマートごみ箱設置や私立学校就学者等クーポンといった、従来の流れを大きく変える政策では、議会への説明や検証が十分でない事例が見受けられた。予算執行過程においても十分検討を深め、常任委員会へ適時適切に報告し進めるよう求める。政策の大きな見直しが必要な場合は、議会でも十分な議論を行う必要があることを指摘し、賛成する。【大坂】

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

本会議における討論

特別区道の路線の廃止について

可決

討論の録画映像は
こちらから



【反対の意見】

本区道の廃止は巨大開発の一端であり、その工事で大量の温室効果ガスや強烈な風害が発生する。また、区道だけでなく区営住宅もが廃止対象であり早急な住宅戸数確保が求められる。さらに、再開発事業区域と土地区画整理事業区域の宅地を含む事業面積の評価方法が不透明である。区道は区民の共有財産であり、公正に処分するためのルール等を早急に具体化することを求め、本議案に反対する。

【牛尾】

【賛成の意見】

本議案による区道廃止を経て、九段南一丁目地区では地区計画に基づき駅前広場や歩道状空地、川沿い区道の拡幅といった基盤整備が進むことになる。区道が廃止されても地域の交通には支障は生じず、区民生活や来街者の利便性を損なうものではない。限られた都市空間を有効に活用し、将来世代に価値ある公共空間を創出する観点からも妥当な判断であると考えます。以上の理由から本議案に賛成する。

【おのでら】



委員会で取り扱った請願・陳情 (令和7年12月27日～令和8年3月19日)

詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。



請願・陳情名 (受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和8年3月19日時点)
百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
工事契約に関する議員の関与について真相解明を求める陳情書	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
不祥事に関する迅速な状況把握と再発防止に関する説明、区民をはじめ多様な人が話し合っ決めてまちづくりの実現を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
泥沼にはまった千代田区を助けるための調査をお願いする陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
都市計画審議会による「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の優先事項の確認と、実効性ある実施を議会から区に求めていただく陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画附帯決議の実行についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の「全ての関係者が」話し合える場づくりの開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町計画の附帯決議に基づく適切な「前向きな話し合いの場」をお願いする陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区再開発に関する話し合いの場に係る陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区の官製談合事件の真相究明のために、第三者委員会もしくは百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
二番町地区再開発に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都計審の附帯決議に基づく適切な「前向きに話し合える場」づくりに関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町日テレ跡地再開発における安全・安心等に関する丁寧な説明を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町の日テレ跡地再開発における地域貢献と加算容積率に関する説明を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビによる二番町計画についての環境影響調査の説明を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町計画の与件整理と基本計画の順序を正す陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
令和8年4月施行予定の道路交通法改正を踏まえた千代田区内(特に靖国通り)における自転車通行環境整備等に関する陳情	環境まちづくり委員会	審査終了
更なる議会改革を求める陳情	議会運営委員会	審査終了
陳情書 旧永田町小学校・校舎を残して下さい。	企画総務委員会	審査終了
千代田区内の違法民泊ゼロに向けた対応を求める陳情	文教福祉委員会	審査終了
二番町計画の基本計画提示前に再度話し合いの場を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区内の違法旅館業施設ゼロに向けた対応を求める陳情	文教福祉委員会	審査終了
新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	企画総務委員会	継続審査



議案の審議結果等 (令和8年第1回定例会)

可(可決) 否(否決) ○(賛成) ×(反対)
欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

議員名等 ※議員名の下段は、会派名略称	出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日
						西岡 めぐみ	大坂 隆洋	のぞわ 哲夫	小枝 すみ子	えごし 雄一	米田 かずや	牛尾 こうじろう	岩佐 りょう子	小野 なりこ	池田 とものり	はやお 恭一	欠員	欠員	白川 司	永田 壮一	入山 たけひこ	田中 えりか	岩田 かずひと	小林 たかや	欠員	ふかみ 貴子	桜井 ただし	秋谷 こうき	おの でら 亮	富山 あゆみ	
千代田区教育委員会委員の任命の同意について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区教育委員会委員の任命の同意について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区監査委員の選任の同意について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区行政監察員の選任の同意について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区行政監察員の選任の同意について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
令和7年度千代田区一般会計補正予算第5号	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/2
令和8年度千代田区一般会計予算	21	20	18	2	可	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
令和8年度千代田区国民健康保険事業会計予算	21	20	18	2	可	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
令和8年度千代田区介護保険特別会計予算	21	20	18	2	可	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
令和8年度千代田区後期高齢者医療特別会計予算	21	20	18	2	可	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区公告式条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区議会議員及び区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区行政手続条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区特別区税条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区手数料条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区旅館業法施行条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区住宅宿泊事業の実施に関する条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区介護保険条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
区立内幸町ホール改修機械設備工事請負契約について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
(仮称)四番町公共施設新築工事請負契約の一部変更について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
(仮称)四番町公共施設新築電気設備工事請負契約の一部変更について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
(仮称)四番町公共施設新築給排水衛生設備工事請負契約の一部変更について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	21	20	17	3	可	欠	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
特別区道の路線の廃止について	21	20	19	1	可	欠	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	21	20	17	3	可	欠	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
神田橋公園改修工事請負契約について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
(仮称)神田錦町三丁目施設整備工事等請負契約の一部変更について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
神田警察通りⅡ期自転車通行環境整備工事請負契約の一部変更について	21	20	20	0	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3/19
報告 雉子橋補修補強工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																														2/26	

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数22名

◇ 会派名(略称) 次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代) / 千代田区議会 自由民主党(自民党) / 千代田区議会自由民主党議員団(自民) / 公明党議員団(公明) / 日本共産党(共産党) / 国民民主党(国民) / ちよだの声(声) / 日本維新の会千代田議員団(維新)

令和8年第2回 定例会の主な予定

6/17(水)	告示日
6/24(水)	招集日
7/1(水)	代表・一般質問
7/2(木)	一般質問

※日程は変更となる場合があります
※詳細は区議会ホームページをご覧ください

区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎富山 あゆみ(自民)	えごし 雄一(公明)
○牛尾 こうじろう(共産党)	岩佐 りょう子(次世代)
西岡 めぐみ(自民党)	田中 えりか(国民)
のぞわ 哲夫(維新)	ふかみ 貴子(次世代)
小枝 すみ子(声)	

※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局 ☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、「区議会公式X(旧Twitter)」では、区議会の最新情報を発信していますので、ぜひご利用ください。

QRコード

ホームページアドレス
<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>

メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

QRコード

公式X(旧Twitter)
[@Chiyoda_Kugikai](https://twitter.com/Chiyoda_Kugikai)

